

2022年8月8日

株式会社三菱UFJ銀行

京都市文化芸術活動への支援について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、京都市が創設した持続的な文化芸術の発展を目指す基金「Arts Aid KYOTO～京都市 連携・協働型文化芸術支援制度～」(以下 Arts Aid KYOTO) に対して、寄付を行うことを決定いたしました。

Arts Aid KYOTO は、コロナ禍で影響を受けた文化芸術活動の継続・活性化はじめ、未来を担うアーティストの育成、子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出など、文化芸術関係者の意欲的な活動を社会全体で支え、持続的な文化芸術の発展を目指し、京都市が2021年10月14日に創設しました。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFJ）では、自社のパーパス（存在意義）を「世界が進むチカラになる。」と定め、全てのステークホルダーが次へ、前へと進むチカラになること、そのために全力を尽くすことを企業活動の指針としています。また、MUFJ および当行が設立・運営する一般社団法人関西イノベーションセンター（代表理事 ^{はやしやすひで} 林 安秀、以下 KIC）およびイノベーション創出拠点「MUIC Kansai」は、観光産業の課題解決を通じ、関西経済の発展に貢献することを目的としています。

当行は、京都市が創設した基金に対する寄付を通じて、文化芸術支援活動を支援するとともに、KIC を通じた観光産業が抱える課題の解決やスタートアップの成長支援により、観光産業の早期回復と成長、関西経済のさらなる活性化に貢献してまいります。

^[1] Arts Aid KYOTOの詳細については、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000289846.html>

以 上